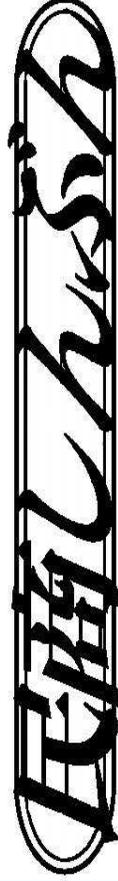


やまと



中小業者が希望の持てる 新時代を切り開こう

発行者 **大和民主商工会**  
 〒 242-0006 神奈川県大和市南林間1-7-7  
 TEL 046-274-3361 FAX 046-274-7129  
 E-Mail info@yamatominsho.jp  
 HP http://www.yamatominsho.jp

会費の15日納入にご協力下さい

## 戦争の悲惨さを伝え 戦争する国づくいをやめさせよう



報告する小川さん

### 原水爆禁止広島大会報告＆戦争を語る会開かれる

広島大会に参加した小川さおりさんから「原爆投下の71年前も今日と同じくらい暑かったと被爆者の方からお話を聞きました。8月6日午前8時15分、戦争中毎日不自由な生活だった。それでも仕事に行く人、学校へ行く人、家事をする人・・・その日常が原爆で一瞬にして地獄と化したのです。原爆ドームの前で、被爆者の方の話があまりに恐ろしく動けなくなりました。私たちは前の惨劇を繰り返そうとする人たち戦争に手招きをする人たちがいることを忘れてはならないと感じました」と報告。続いて、森幸子さんが「広島

の街は近代的なビルが立ち並び、ここに原爆が落ちたなど考えられませんでした。しかし、原爆ドームを見た瞬間、心が変。アリーナに着くと日本全国、世界各地から戦争反対を願う大勢の方々が参加しているのを見て、また、広島市長の平和宣言、子ども達の平和への誓いを聞き「戦争は二度と起こしてはいけない」と改めて実感しました。その場で安倍総理の様読みが対照的でした」と報告。その後小川さんによる被爆者・佐々木貞子さんのことを歌った

『祈り』の音楽と手話が披露されました。

続いて**戦争体験の話**に島田恒治さん、池上奈美子さんが横浜大空襲の体験を話されました。

お二人とも偶然、鶴見区潮田で空襲を体験、島田さ



んは当時5歳でした。B29に乗っていた米兵が見え嘲笑うように、焼夷弾を投下したそうです。防空壕に逃げた悲惨さを子ども心に感じたと話しました。池上さんは当時4歳、空襲が始まり防空壕へ逃げようとする中、青年団員から山



学習会の様子（大和市勤労福祉会館）

### 「決算書の見方」「数字から見える経営状態」

#### 学習会開催されました

8月の日自主計簿推進委員会主催の学習会が開かれ15名が参加しました。

小林事務局長から簿記の必要性について、お店や会社に財産がいくらあるのか(財政状況)、いくら使っているのか(経営状況)を知るために帳簿をつける必要があると説明がありました。

その後、A商店の決算書を例

(裏面く)



の為に頑張りたいと話しました。青木幸弘さん

の方へ逃げたと言われ、叔母に背負われ向かいました。逃げた後に歩いていたら所に爆弾が投下されたそうです。その後、六角橋の親戚へ避難した際ガード下に死体が隠されていたそうです。見てはいけな



いよと言われましたが、見てしまった。思い出すと涙がとまらない。初めて皆さんに話します。私はもっと長生きをしたい。それはこの体験を多くの若い方に伝えたいからです。そしてこんな酷い戦争・人殺しは絶対に止めさせる。

戦争を知らない世代に悲惨さを伝えていく、またこういった機会を設けようとして平和への願いを確認し終了しました。



# いも煮会

大和民商恒例の

場所 泉の森キャンプ場(246 側道から入る)  
日時 10月30日(日) 11時受付開始

参加者 大人1500円

小・中学生500円

(夫婦参加は2500円) 夫婦割りです。

今年は、大人から、子供さんまで、楽しめる企画を準備しています。家族揃っての参加もしやすいようにと夫婦割りを取り入れました。ご参加お待ちしております



に実際にこの商店の経営状況を調べました。

参加された佐々木誠さんは「例題で学習すると役に立つ。同じ業種でも経営分析すると利益率など違いがでる。自分の経営がどうだったのか比較ができ参考になる」。羽根孝充さんは「経理を理解することで自信が付き、税務調査を受けた時、力になると思います」と感想が寄せられました。

またこういった機会をぜひ作ってほしいと要望が寄せられました。

## 館野鉄工所跡地を慰霊公園への陳情、自・民の党略で審議打ち切りに

館野鉄工所・米軍機墜落跡地を慰霊公園(仮)へという陳情が、この9月議会に約千名をこえる署名をつけて提出されていたのですが、6日、夜7時過ぎから委員会論議が行われました。30名を超える傍聴者が見守る中、論議はまずは陳情者代表で、ご遺族の館野義雄さんが陳情理由の説明のご遺族としての心情を涙ながらに訴えられました。



闘いの決意を語る館野さん

52年前、事故を知った時のショックと死なされた方の生命が失われたこと、その後、事故現場にはなかなか足を運ぶなかったこと、3年前地域住民の方で慰霊碑が立ち、どれだけ勇気づけられたか・・・。

一度とこうした悲劇を繰り返さないために平和と安全を求めるコメントとして、市の公的な慰霊碑にしてほしいと訴えました。

その後、事故を風化させてはいけない、遺族の思いに伝える必要などの意見が出され、反対意見も出ない中、公明党の河端委員(市議)から「審議を打ち切め」にする動議が出されました。共産党の堀口委員(市議)、虹の会の石田委員(市議)、ネットの山崎委員(市議)からは動議に反

対し、継続審議するよう意見が出されました。

しかしその後の採決では、公明の河端市議、自民の古本市議、明の未来の古谷田市議の賛成で、可否同数で、自民党の委員長採決で「事実上の審議打ち切り」に。参加者からは怒言も飛びました。

本当に許せません。

更に闘いは続きます。



奮闘された大和市議の皆さんと館野さん

### 記帳学習会のお知らせ

10月14日(金) 15時半~17時半  
(勤労福祉会館・小会議室)

10月21日(金) 19時~21時  
(勤労福祉会館・茶室)

### 無料法律相談

大和民商では毎月一回、弁護士による無料の法律相談を行っています。事前に予約下さい。

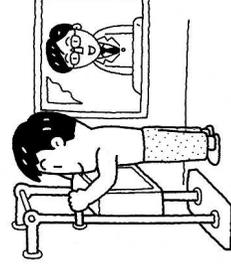
今回は10月13日(木) 19時から大和民商事務所

### 給付を受けた方の声

75歳の誕生日、共済会より頂いたお祝いで、前職の会社の先輩がしばしば御馳走してくれた東京深川の「みの家」(馬肉のすき焼き)に娘と孫を連れて何十年ぶりに食へに行きました。午後は江戸東京博物館に寄り、楽しんできました。長年考えていたことが通いました。有難うございます。

南林間支部 戸田豊康

### 民商共済会だより



「健康でこそ商売繁盛」健康診断をつけましょう。

秋の健康診断は11月中旬から下旬に行います。

詳しくは次号で